

ALLアセットガート太陽光発電ファンド開始

① ALLアセットパートナーズ（中区中町、豊島康夫社長）は一日、太陽光発電ファンド事業に参入した。

これまで、一般からの太陽光発電への投資に対するニーズはあったものの、投資を行うには多額の資金が必要とされてきた。同社は今回の太陽光ファンド事業に参入すること、一般の人にも太陽光発電に投資する機会

を提供したいとしている。参入に伴い、一日からwebサイト「ソライチファンド」を公開した。また今月からソライチ太陽光発電ファンド第一号の募集を開始する。同ファンドでは悪天候などにより、発電量が低下した場合でも最低保証賃料が支払われ、実績が予想を上回った場合には実績連動賃貸が支払われる。運用期間は二十年で、目標分配率は八・五％（税引き前）。ファンドは一口五十万円で総額六千四百万円（百二十八口）の募集を目指す。運用期間中の解約、譲渡はできない。不動産事業本部の丸子善和本部長は、「今後2号、3号とファンドを拡大していき、再生可能エネルギーを利用することにより社会に貢献していきたい」と話した。